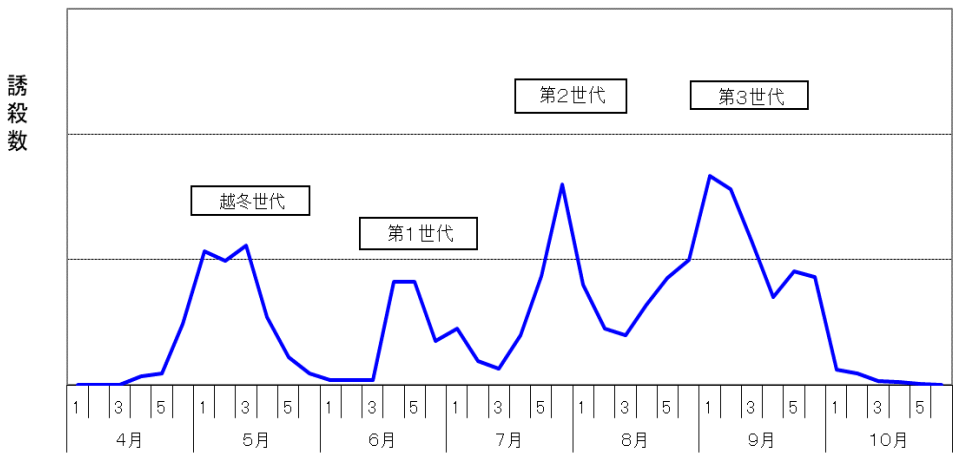
スモモヒメシンクイのフェロモントラップ誘殺消長［令和８年（2026 年）調査］

過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内　県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

・年３～４回発生する。

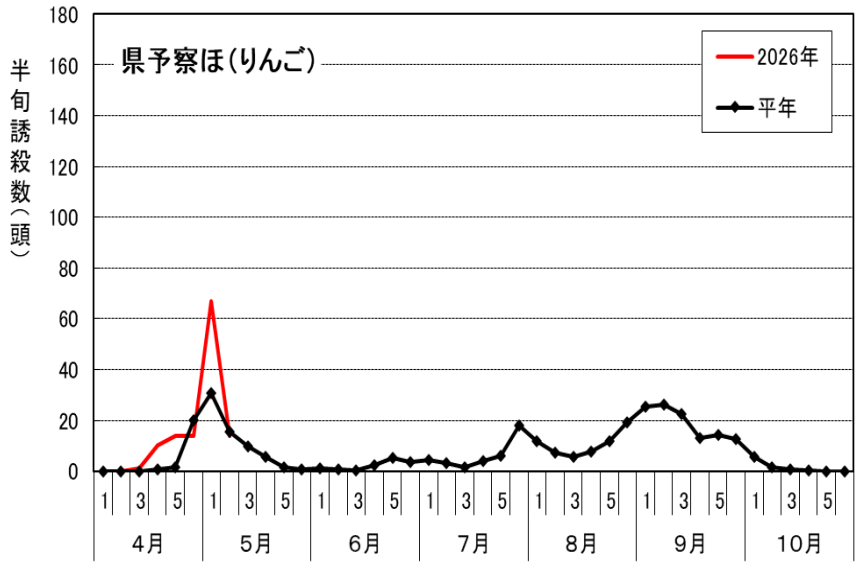
・越冬世代成虫は４月下旬～５月上旬、第１世代成虫は６月下旬～７月上旬、第２世代成虫は７月下旬～８月上旬、第３世代成虫は９月上旬に発生する。

・日本すももは、第１世代、第２世代の卵及びふ化幼虫の防除を行う。

　防除適期はそれぞれ５月上旬～６月上旬、６月下旬～７月中旬であり、10～14 日間隔で防除する。

・りんごは、第３世代の卵及びふ化幼虫を対象に、８月中旬頃から５～７日間隔で防除する。

○県予察ほ（須坂市　長野県果樹試験場内）



【調査地点】（標高約 350m）

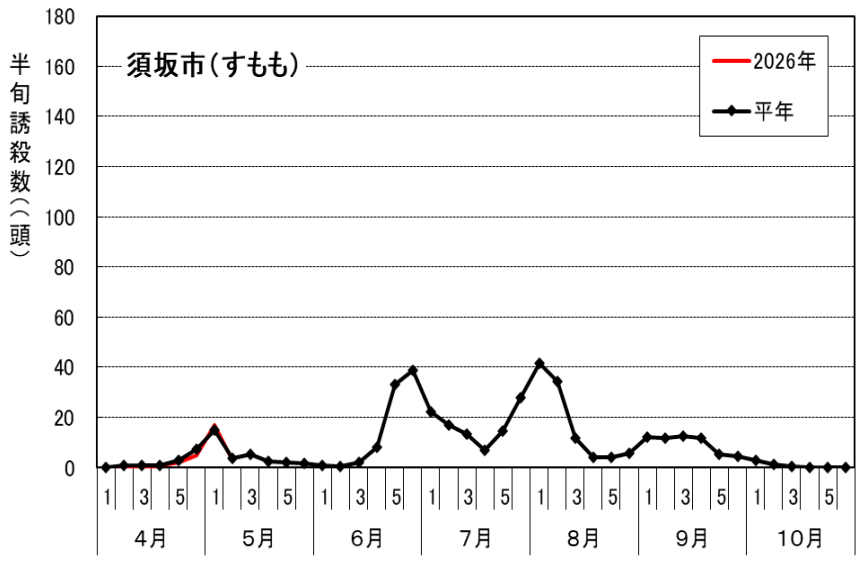
・須坂市　長野県果樹試験場（りんごほ場）

・平年は 2016 年～2025 年の平均値

【コメント】

・平年より早い４月第３半旬より越冬世代が誘殺され始めた。５月第１旬は平年と比べ誘殺数がかなり多かった。

○須坂市（病害虫防除部調査）



【調査地点】（標高約 370m）

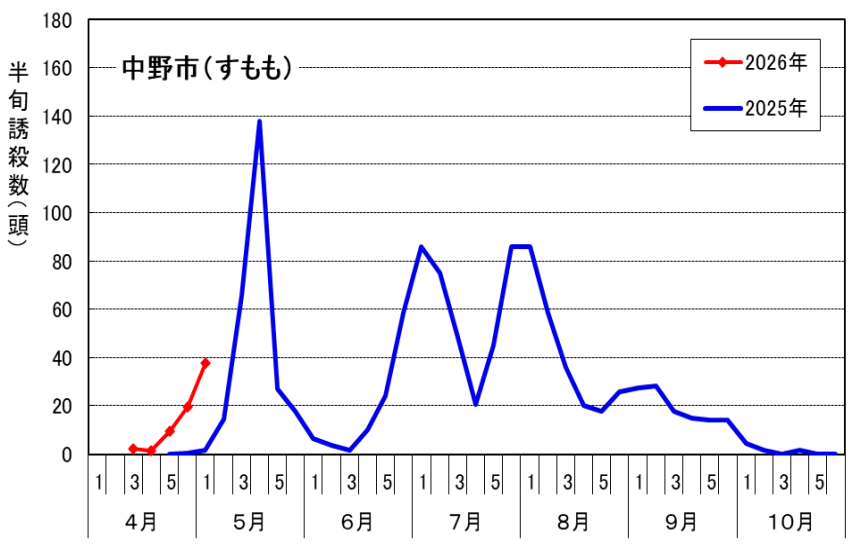
・須坂市（日本すももほ場）

・平年は 2016 年～2025 年の平均値

【コメント】

・４月第４半旬より越冬世代が誘殺され始めた。誘殺数は平年とほぼ同じ傾向をたどっている。

○中野市（※北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 350m）

・中野市（日本すももほ場）

・2024 年より設置のため、平年値なし。

【コメント】

・４月第３半旬分から計測されているが、第３半旬にはすでに誘殺が記録され、前年よりやや早く、やや多い誘殺数となっている。